



2022年3月2日

各 位

会 社 名 国 際 紙 パ ル プ 商 事 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 栗 原 正
(コード番号：9274 東証第一部)
問 合 せ 先 経 営 企 画 本 部 長 中 根 隆 治
(TEL. 03-4431-7215)

子会社の設立に関するお知らせ

当社は、バイオマス発電所運転支援システム「BMecomo」の開発および販売を主要な事業とする子会社を新たに設立いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 子会社設立の理由・目的

当社は、当社グループが推進する「総合循環型ビジネスモデル」の一環として、2018年よりバイオマス発電所の運転管理・設備管理・事業管理の支援を目的とした運転支援システムである「BMecomo」の開発を行ってまいりました。2019年10月からは実証運転を開始し、直近では、2021年11月に三重エネウッド株式会社（本社：三重県松阪市、代表取締役社長：西川 幸成）と「BMecomo」のサービス利用に関する契約を締結^{※3}するなど、順調に事業を拡大してまいりました。

このような状況下で、更なる事業の拡大と効率化、及び意思決定の迅速化等を目的として、当社とEnvision Enterprise Solutions Pvt Ltd.（以下、Envision社）との共同出資により「BMecomo」事業を主な業務とする会社（株式会社BMエコモ）を新設することにいたしました。なお、Envision社は、現在「BMecomo」の開発を委託しているインドに本社を置くITベンダーであり、大手ITベンダー各社とゴールドパートナーシップ契約を締結するなど、開発能力や情報管理能力において高い評価を得ております。また、AI・ビッグデータ活用に不可欠なCloudプラットフォームソリューション（IoTソリューション、モバイルソリューション、IoTゲートウェイ/IoTセンサー、EAMソリューション、港管理ソリューション、倉庫管理ソリューション、流通・ロジスティクス）を自社開発（iARMS/Rubus^{※1}、iPortman^{※2}）しており、今後、人材の高齢化・設備の高経年化などの課題を抱える日本の産業分野などに対してそれらIoTソリューションを展開する際、Envision社と新会社の協業により販売することを予定しております。

※1 iARMS/Rubus…DCS、SCADA、Wi-Fi対応各種センサーデータ転送ソリューション

※2 iPortman…港管理ソリューション

今後につきましては、脱炭素化社会やサーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現など、バイオマス発電市場を取り巻く外部環境の変化を背景として、「BMecomo」事業をより一層成長・展開させ、社会課題の解決と当社グループの企業価値向上の両立を目指してまいります。また、廃棄木材のエネルギー利用サービス^{※3}の取り組みも推進し、循環型社会の実現も目指してまいります。

※3 2021年9月22日開示「ビッグデータを活用したバイオマス発電所運転支援システム「BMecomo」 サービス利用契約の締結に関するお知らせ」（https://www.kppc.co.jp/ja/news/irnews/auto_20210922401011/pdfFile.pdf）

2. 子会社の概要

(1) 名 称	株式会社BMエコモ	
(2) 所 在 地	東京都中央区明石町6番24号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀尾 太一	
(4) 事 業 内 容	バイオマス発電所運転支援システム「BMecomo」の開発・販売、 バイオマス燃料の売買及び輸出入、 プラント運営に係るコンサルタント事業 等	
(5) 資 本 金	50百万円	
(6) 設 立 年 月 日 お よ び 事 業 開 始 日	2022年3月1日	
(7) 大株主及び持株比率	国際紙パルプ商事株式会社：85% Envision Enterprise Solutions Pvt Ltd.：15%	
(8) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資本関係	当社が85%を出資する子会社であります。
	人的関係	当該会社の取締役3名、監査役1名を、当社の役職員が兼任しております。
	取引関係	当該会社の運転資金への充当を目的とした金銭貸借契約を、当社と当該会社との間で締結することを予定しております。
(9) 最近3年間の財務状態 及 び 経 営 成 績	該当事項はありません。	

3. 今後の見通し

本子会社設立は、中長期的には当社グループの企業価値向上に資するものと考えておりますが、現時点で当社グループの業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。また、今後開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

(参考情報)

◇ バイオマス発電所運転支援システム「BMecomo」

「BMecomo」とは、ビッグデータ解析やAI・IoT等の最新テクノロジーを活用し、バイオマス発電所の運転管理・設備管理・事業管理の支援を目的とした運転支援システムです。最新のテクノロジーの活用と徹底的な「見える化」により、バイオマス発電所の収益最大化を支援しております。

また、高度な運転管理を実施している発電事業者に対して法定検査時期および審査時期を延長する制度が施行されており、IoTを活用した高度な運転管理を行うことで最大6年まで期間を延長することが可能となっておりますが、「BMecomo」はこの高度なIoT管理に合致するシステムであるため、「BMecomo」を導入し条件を満たすことによって、法定検査・審査時期を延長し、高額な法定点検コストを削減することが出来ます。



「BMecomo」サービス紹介ページ：<https://bmecomo.com/>

以上